



赤ちゃんの人形を使って顔や体を洗う練習をしました

TOPIC  
4  
6  
30

赤ちゃん人形で沐浴体験

白糖高校「沐浴体験教室」

白糖高校の1、2年生が同校で「沐浴教室」を行いました。町保健師と助産師を講師に招き、子どもを産み育てることの意義や保育の重要性などを学びました。また、赤ちゃんの人形を使った沐浴や着替えなどを行いました。助産師の本郷恵さんは「沐浴は5分から10分で済ませることがポイント」と話していました。

岩淵すずかさん(2年)は「人形が重たく、首を支えながら洗うのは難しかったけれど、貴重な体験になりました」と話していました。

TOPIC  
1  
6  
20

戦争の恐怖を忘れないように

遺族会「語り継ぐ戦争の体験」

白糖町遺族会(中河敏史会長)は、戦争体験者の中河一雄さんを語り部とした「語り継ぐ戦争の体験～平和へのメッセージ」を社会福祉センターで開きました。

現在100歳の中河一雄さんは21歳のときに徴兵され、海軍で約3年間戦争を体験しました。中河さんは戦中に食べ物がなく、みじめな思いをしたことや魚雷に撃たれたこと、飛行機から50発の爆弾を落とされたことなどを語り「爆弾が風を切る大きな音に背筋がざわっとした。ものすごく怖かった」と話していました。



「戦争はどんな理由があってもするべきではない」と中河さん

TOPIC  
5  
7  
2

生徒7人が練習成果十分発揮

白糖養護学校第42回運動会

白糖養護学校(仲條正輝校長・生徒7人)の第42回運動会が同校グラウンドで開催されました。

天候にも恵まれた今年の運動会は、中学部生徒による個人競技に始まり、高等部生徒による個人競技や各学部ごとの団体競技などで、生徒たちは自分が持っている力を十分発揮し、会場を盛り上げていました。

全校競技「あけてびっくり!はこたま」では、生徒たちがたくさん球が入っていきそうな箱を選ぶ一生懸命な姿に、来場者から大きな拍手が送られていました。



たくさんの球が入っていきそうな箱はどれかな～



NTT東日本の社員からプログラミングを学ぶ参加者(25日)

TOPIC  
2  
6  
24/25

プログラミングを使った最新のICT技術を学ぶ

プログラミング体験会

町と町教育委員会、NTT東日本は、小学生を対象にした「ロボットプログラミング体験会」を24日に茶路小中学校、25日に社会福祉センターで開催しました。

NTT東日本は、子どもに最新のICT技術に触れる機会を提供しようと、道内各地で体験会を開催しています。

体験会では、子どもたちがプログラミングの機能を使って、ロボットのSotaを動かしたり、会話をしたりして楽しみました。音喜多麻那さん(庶路5年)は「ロボットを動かせたのが楽しかった」と話していました。

TOPIC  
6  
7  
6

弟子屈町との友情を深める

海の子山の子ふらさと交流事業

弟子屈町と白糖町の小学生による「海の子山の子ふらさと交流事業」が恋問海岸などで行われました。

3年ぶりの開催となった今年は、弟子屈町から20人、白糖町から13人が参加。「ゲートカーリング」や「サンドアート体験」を楽しみ、互いに友情を深めました。

白糖小1年の柳谷紗菜さんは「弟子屈町との交流は緊張したけれど、最後は楽しくお話することができました。来年、弟子屈町に行くのが今から楽しみです」と笑顔で話していました。



砂で自分たちよりも大きい、立派なツメのカニを作ったよ

TOPIC  
3  
6  
26/27

映画の成功を祈願

映画ロケ地で「カムイノミ」

来年からアイヌ民族をテーマとした映画の撮影が予定されていることから、26日と27日の両日、ロケ地でアイヌ民族の伝統儀式「カムイノミ」が行われました。

儀式には、白糖アイヌ協会の会員や映画関係者、棚野孝夫町長など13人が参加。映画の成功を願い、火の神を通じて自然界の神々に祈りを捧げました。

中尾浩之監督は「映画を通してアイヌ文化を紹介したいと思っているので、こうした伝統儀式を行うことも、この映画の魅力の一つになる」と話していました。



マカヨ地域で「カムイノミ」を行う参加者